

聖隷学園地域問題研究所

(滋賀地域問題研究会をふくむ) について

一、組織

所長 足立忠夫 (聖泉短期大学教授)
 所長代理 進藤勝美 (聖泉短期大学教授)
 所員 柳原太郎 (京都薬科大学教授、元滋賀教育長)

所員 中道信廣 (聖泉短期大学助教授)
 顧問 伊藤規矩治 (聖泉短期大学学長)
 事務局 中川郁雄

二、方針

約六回にわたり、所員一同が協議した結果、滋賀地域問題研究会を創設し、それと表裏一体となって運営していくことを決定。

三、活動状況

昭和六十年十一月四日、滋賀地域問題研究会設立総会を開催する。地域問題研究所設立趣意書、研究所と研究会の表裏一体関係の説明、研究会会則・同会長・同運営委員の決定。

同六十年十二月より県民を対象に原則として毎月第二、第四土曜日(七、八月休講)に土曜講座を開講した。

土曜講座英会話コースは初級と上級の二クラスを設けた。

S・ホスマン 聖泉短期大学教授夫妻が担当。

土曜講座社会生活コースは毎月、一つのテーマ(各テーマごとに二回)を選んで開講した。実施してきたテーマは次の通りである。六十年十二月「生活の設計」進藤勝美(地域問題研究所所長代理・聖泉短期大学教授)、六十一年一月「変化する家族」伊藤規矩治(聖泉短期大学学長)、二月「税のはなし」中道信廣(地域問題研究所所員・聖泉短期大学助教授)、三月「年金のはなし」叶野清(聖泉短期大学助教授)、四月「行政の知識と国民の利益」足立忠夫(地域問題研究所所長・聖泉短期大学教授)、五月「創造力をたかめる子供の育てかた」市川亀久彌(聖泉短期大学教授)、六月「文学にみられるフランス人の生活」店村新次(聖泉短期大学教授)、九月「滋賀県を教育を考えてみよう」柳原太郎(地域問題研究所所員・京都薬科大学教授)、十月「変貌する中国」白木三秀(聖泉短期大学講師)、十一月「体験としての新聞」足立悦郎(毎日新聞社支)。

文化講演会として六十年五月十七日「コミュニティカレッジと聖泉短大」伊藤規矩(聖泉短期大学学長)、同年十一月四日「中江藤樹とその現代的意義」川崎源(滋賀女子短期大学学長)、同日「生命操作はどこまで許されるか」今本品久子(滋賀医科大学助教授)おなじくシンポジウム「生命科学と人権」IIパネラII今本品久子(滋賀医科大学助教授)、足立忠夫(地域問題研究所所長・聖泉短期大学教授)。